

「あ、こいつはやつあせ。ほづ、ハコムがやつじます。」約束通り、準備OKですよ」「ふふふ、わからせスペシャル「ース、洗脳度20%、催眠オフシルバ『覚識改変』、『条件を満たすと洗脳度上昇』のひとつですね」

「覚識改変で『魔法少女として悪の組織の戦闘員と戦つためには精液を搾り取らなうこと』かはこ」と思って込ませてあります」

「また、洗脳度上昇の条件は体に精液が付着するルル。」ルルがひきやへと血覚してこます「ええ、後はこつもの通り、乱暴」ルル以外のフレイゼルさんルルさん、黒西田の元魔法少女風俗嬢、プロム・ポーションのやさんをお譲りみくだわる」

「備え付けの「ハザードゼリュ田」」ルル。ルルはお部屋でね待ひてください」

「はあ～こ、ハコムでや～か、こひか、あつがんハジマツサカ」「今田は洗脳を解こう、相手がこいつだぬなさい——」

「はい、想斷したわねー。いそなに壁あらわして、感じやせりあても、」「わたしは、心も折れたわけなこじやなこー。」

「セイハイ」「ールーー！」

「聖衣転身、聖恋天使プロム・ポーション、復活よ二：」

「今まで受けた屈辱、田万倍」こいつ返してあるのわよー。」

「ナハハハ、あそたのホチノボミルク、たっぷり搾り取つてあげいかい」「」の雑魚戦闘員、覚悟つむやこ

「あのHシチな洗脳をしたやう精液も」の魔法の「ハザード」で防げば問題なし。べ、一箱しか無こ……だ、大丈夫よね……だ、じょづだこじょづ」「ハハ、わうわうおちこちこ、もぐもぐに勃起させ……せ、セーラの匂づらふふんで、ふあ……あ、ダメダメ、す、かづこ魔法の「ハザード」でおじなせや」「こ、こな凶悪ひこせ……でも、」ただ、抵抗あぬもどもなハザードマニアはちやで、なれかぬこ。」それで、セーラがひび出しても洗脳じやなんだからー。」

「覚悟つむやこ、雑魚戦闘員」

「まずはプリムのパイズリで、カラッカラになるまで精液、搾つてあげる」

「おのれが張ったおひさまが闇点たつてのまわらわからへだたかい、かまば、れい、れい、  
……からり唾液じありした竿先を挟みしとど、おにぬにじぱんじぱんじのおひさまニカッド、効

「あゞ」に麻精ヤカレ、遙參ヤカレアルカ。スハ、スニハ「

一聖恋天使の衣装で包まれたおっぱいを交互にすりすり、つて擦りつけ、オチンポの根元か  
ら、先づままでシロシロしていくから

「おひなちゃん、わたしのおひなちゃん派手で、おひなちゃんがおひなちゃん、靈れてる」

生のハーブの香りたこもめくもいも  
伊豆で 感じたやうにし

「勃起したおちんちん、ビクビクして、もへもへしたって、腫つてゐる」「ほいほいの農業センター、さゞめが地主がつておらぬぞいな」

「わたしの必殺技しつかり味わいなさいー。」

「んふあツ、いつぱー出たあツ♥」

卷之二

「わたしが本気を出せば戦闘員なんて、なんて……ふあ、『ハーベース』…………うへ、あこか

わらす精液の量だけは怪人級なんだから、ほ、ほめてないわよ!? こんなセーしでパンパンの危険物、まつておいて奪われたら危険

結びつけて管理したこと。ん、ほかほかが「ム」と越し……」

まあいいわ……轟墜マークよ、轟墜マーク！ どんどん搾り取つて並べてあげるん

「その全然變えてない勘定ちんぜー。つゞく、精液の匂いす。」い……だめ、早く魔法のロングーブだからっ！」

で早く封じなこと、匂いだけで洗脳されちゃうなう。……ふう、ふあっ、2枚目もきちんと

「これは本格的にセックスして、精液、しつかり搾らないとダメみたい」

「ヤ、仰向けになつて」

「え、シローシがぐいしょり濡れぐらこ愛液が垂れていなくて……ひ、ひれはおちとちんかり精液榨り取るための準備よ、か、覚悟しなさい!!」

「え、はひる……」の格好だと、『氣』は奥まで伸び、んあひ、中で震れたりやう。あ、あ、ああ

あ。

「はひ、はひい、なかなか、んあひややるわね。戦闘の『せんとう』、んあひ、おけいせん。

『じごう』つりゅこて。

「だめ、わたし、魔法少女。だから、あひ、せーし擦り取つなど、腰を……ぐわぐわぐりゅ上りに、うひて、ひあん。」

「うなつたが、抱せつや攻撃よ……せりかへ、ぱんぱん貼つたわたしの乳首で、こいつ『氣持』が、くっついあひね。」

「おひまご押し付けて、おひでかの『氣持』がことじいおひで、『氣持』で縛め付けて。」

「めり、出しなさい。私のおもて、じんぐるの精子、じゆるひをうつし、出しまくつな

やこしおはあ、はあ、んあひ、そひにひ……」

「はひ、せわく、あひに、中の『氣持』がここと、『コーキ』擦れでえ……」

「こ、イキまつ……」

「あ、今は違うから、『れぐら』で、わたしの『エスボッシュ』、感じたりなんれ、んひ、んひぐう、ひぎう、しなこかう。」

「あひ、あひあしき、『なんじ』や、わたしは負けたりしなこからう。イクのは、あんたのよわよわな、ザ」「チンポよしお。」

「『じく』『じく』して、熱々のせーし、上がつてせーしのよね」

「せりせり、せりあしき、イケつ、イケイケイケえつ、射精、イツカヤええええ、あひ、ああ、んあああひ、そひあしき、んひぐらう。」

「聖恋天使は負けないんだから、んおつ、負け、負けなこ、だから、早くひやせこしてえ、

こひやえええ、そひあしき、んひあああ——シ。」

「はあはあ、はあ、わたし、いつになこから」

「おまこ」が『じく』『じく』痙攣してゐる、あんたのザーメンを絞るための、聖恋天使の必殺技だか

うひ……あひ、あええ……」

「ふ……はあ、はあ……ひひつ、ぬ、抜けた……うあ、ヤツヤよつ『ハーデーム』大きい、たぶたぶだ」れ全部精子なのよね、『じく』……」

「はひ、だめだめ、これも回収して……」

「こしそう、『ゴム』を外して、口を縛つて。うひてガーターに付けて。新しいの着けなきや……

まだ、残らはこつぱこあねし大丈夫だよな」

「それこつても、すいじせーしの四つ」

「す、す、す、『の香つ』だかで、ぬ、じやこれつ……え、あ、わたし、興奮なんじしてないから」

「な、何よ、おかえかん突せだして。お口でこいつて……んぱ、突きつたるなあひ。」

「い、い、わよ……精液搾り取れるなう！」（でも……大丈夫、魔法の「ハグーム」がいるから……せ、せーし奥ハグームで負けないんだから）

「」んな変態戦闘員のがちがちちゃんと正義の魔法少女は屈

丈夫

「ほらあ、ぜんじえんつ、フエララつれえ、へーきれしょつ」

「んむ、はむ、こんな精液の匂いが、洗脳されなしだ。なんか、かわいい、かわいい、かわいい……。」

「ンケツ……ふはあ♡ ど、どう? ここで聞くまでもないわね……」なんといふ出で方かぎりで、

「ハンドルで喉潰れるかと思ったわよ……ほんと、ほんと、こんな、こんないつぱい全部飲んじゃった  
らお腹の中でも孕んじゃう」と、ふあ♡

「ちひりだけなら……だ、ダメよ、なに考へてゐるわたし♡ はあ、はあ♡ 」、これも結ん

「隠れておかなきゃ」

卷之三

「うへ、」れぐらい……聖恋天使プリムを舐めないで、ひやつ♡ ほんとにいるな♡ あと1

〇回でも△〇回でもぐしゃぐしゃに腰振つてあんたの精液搾り取つてあげるんだがううう！」

身残しきをなれり。喜拂仕仕の先は吉にあひるから  
一

「おまんこ」思い切り締めて、精液搾つてあげるわ、ん、んんんっ♪」

「出でやえッ、精子、出でやえッ んあああッ！」

「んひいっ♡ わ、わたしもイッたらやう♡ ダメなのに、このチンポ気持ちいいのお♡♡♡

「ルルガルニッヒー」

「はあはあ、ちよつとだけ、き、休憩、させでえ……。あふ、はふう……今のは相打ちだから……。」  
「…………。」

「あ、おちんちん抜けちゃった……」ホカホカの精液の詰まったコンドームをわたしのガータに結ばないと、あんつ、子種でたぶたぶにゴム袋、まだ温もりがついて、出したてつて感じ

「はあはあ、また復活したおちんちんにゴム付けてや、と」

あ、あ、ああっ♪ 入ってきたあ♪ んあつ♪ こんな近くでおちんちん入れられてアヘつてる顔

「お世話ちやうてゐるのダメーーー見られて腰一かしづ」

「わへ、頭真つ口で、意識トビゴニヤニル……」

「あ、あえ、あえええ、そんうり、勃起チンポつ、んひ、んひぐう、突きあげて、来ないでう！」

「藤わ木の井處のダム、ガシラカナでえ」

「ひぐうらめえ、らめらめらめ、らめすぎらのお」

「んのむわ 懇親を重んじるはよし野村

やうやく全部とけちやうやく

「来いのうし、あひぐう、とひぐう、負けちやダメなのに♡」

「あえ、あえええっ♪ あひっ♪ ひう♪ ……まだ、い、いつになつて」

「雑魚戦闘員のクセに、タフすぎなのよ」

ツ♥♥ —

「せわ、せわ……お、ま

「ハ、ハハハ、着けなきやっ！」

「え、箱の井から?」これが最後の「シゲル?」

「アーヴィー使ひ切つたりやたらひ、牛かんぽで、アーヴィーわたし、何があつても最後まで戦つ

「そんな……わたし、聖恋天使なのに「悪」に堕ちちゃうの……あ、あ、でも! こんなにおかんちん熱くて、ああ、手が止まらない!」

「おかべちと手」「キで、最後の「ン」だ〜んなの」……はあ、はあつ〜」

「ほひ、シハシハシ、中に出しても、最後の「ゴム」だけど、射精して使つたらやうなら、仕方ないよ

「たまたまをもみもみしながら、勃起をシコシコハラハラ

「雁首が感じやすいんだよね」

「薄い」「ムだから、手で直接触れてるみたいでしょ?」

わたしの母で「んな熱々の生で出されたら一発で障ちやうやうお♡」

吸しただけで、心がぐっしょ濡れで

「正義の味方が負けちゃいけないのに……で、でも仕方ないよね」

「心の手帳」

「仕方ないじやない いほし いほし おちんちんて いかされて 女の子の穴もお口も おお

懶に書物を捌くふれでく……ふん「ああー……」

けちゃうよね、こんなの……せ、聖恋天使でも、耐えられないの、当然だよね、あ、ああッ♡

「お、おひるがえられてえ、わたし、らめ、らめえッ♥」

「よ、初のお嬢様」「ははは、あ、あああッ！」

「子宮にまで、どっぷどっぷ洗脳精子流し込まれて完全に負けちやうのね♡」

完全に戻れなくなっちゃって、戦闘員の方に敗北です。魔法少女として絶

# 「え……わたしの魔法のステッキ?」

「キラキラ輝いて、あ、あ♡……わたしが望む形に、魔法のステッキだから、今まで一緒に戦つてきた魔法のステッキなのに」……はあはあ、ステッキ、おちんちんの形に変わったやつだあ♡「見覚えあるの、ど、当然よ……あんたの、それだし……あ、やあ……お尻♡ 魔法少女の、聖恋天使のステッキでお尻の穴♡」

「おまんこでイキまくってゐるのに、お尻まで責められたうあ、わ、わたし、本当にダメになるう、お、墮ちちゃつゝ」

「エベ、エベエベ、エベエベ」

「二穴で、んつおおおツ♡ んおつほおおーツ♡」

「わたし、おひでさんとお隠れになつてゐる。お口や、お尻も、おまじこも、おひでちゃん専用だ。」

「あひい♥ んひいいつ♥ ..... 射精またあ ♥  
す、すゞしいい♥♥♥♥

「あ、スマートな話題で、記憶の最弱点♡」

「お腹も中出しでパンパンで、精液奴隸にピッタリの姿にしてもらってどうでも幸せで～す♡」

「えへ、ピース、ピース♡」

「次もプリムの」利用よろしくおねがいします～ んひ♡」